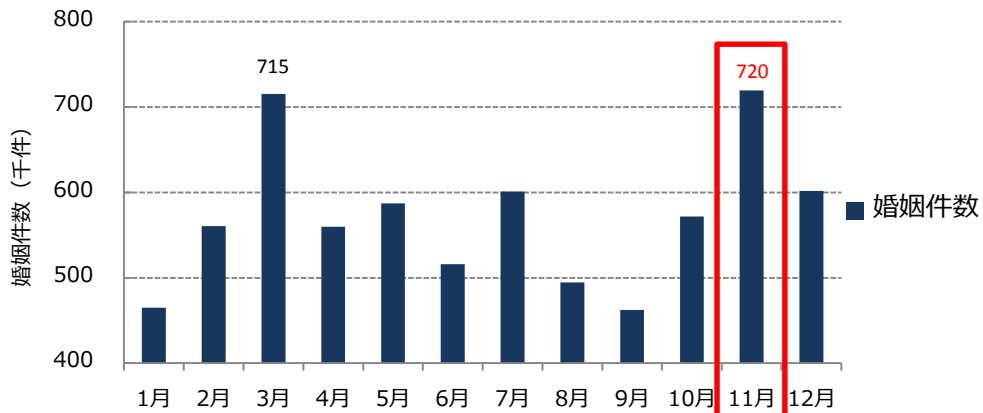


報道関係者各位

2016年10月
株式会社アバント

グローバル資金管理の専門家、アバントが解説 国際結婚カップルのお金の問題 管理の仕方を間違えると離婚の危機にも!?

気温もぐっと下がり、秋の深まりを感じる季節となりました。秋の深まりとともに徐々に結婚の知らせが多くなったということはありませんか？総務省によると、婚姻届の届け出件数が最も多いのは11月だそうです。(図1) これは気候が暑くもなく、寒くもなく過ごしやすい季節であることや、祝日が多いこと、また最近では「良い夫婦の日(11月22日)」が定着してきていることなどが関係していると言われています。



(図1：総務省 人口動態調査2015：「月別にみた婚姻件数」※2006-2015年10年間累計)

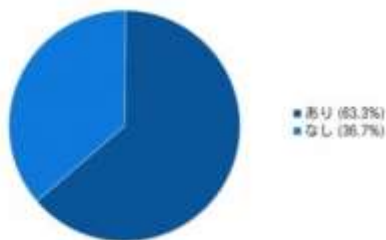
国際結婚は“あり”が大多数

最近結婚を発表したカップルといえば、卓球の福原愛さんと江宏傑さんが話題となりました。

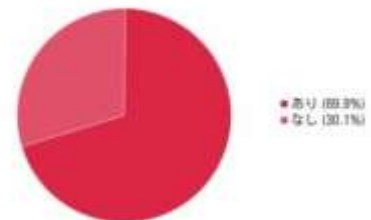
彼女たち夫婦は卓球界のビッグカップルということの他に、日本と台湾の国際結婚ということでも大きく報道されていますが、国際結婚事態に関しては世間一般の認識でも好意的な意見が多く、特に違和感のないこととして捉えられているようです。(図2)

Q. 国際結婚はありますか？

男性



女性



(図2：マッチアラム株式会社調べ2016「恋愛、婚活に関する調査」)

<本レターに関するお問い合わせ先>

株式会社アバントPR事務局 (株式会社ベクトル内) 徳丸/小林/中野
TEL : 03-6825-3020 / MAIL : avant_pr@vectorinc.co.jp

国際結婚はやはり難しい？

しかし、実際に国際結婚をすると様々難しさもあるようです。

厚生労働省の統計によると、日本人男性と外国人女性の国際結婚では約70%、日本人女性と外国人男性の国際結婚では約49%が離婚しているという結果が出ています。（厚生労働省 人口動態調査2014：「夫妻の国籍別婚姻件数・離婚件数」より）

アメリカのメリーランドロヨラ大学の調査では、北米在住の国際結婚をした日本人女性のうち約 1/3 が「現在頻繁に悩んでいる問題がある」と答え、金銭的問題が「現在頻繁に悩んでいる問題」や「離婚を考えたこと」の上位として挙げられています。（米メリーランドロヨラ大学「国際結婚アンケート調査：第一次結果報告」）

また、国際結婚したカップルが悩む金銭的な問題として、インターネット上でも下記のような「金銭面での価値観の相違」に関する意見が数多く見受けられます。

- ・現地で暮らす場合、日本よりも税金額が非常に高額で当初想定していたよりも質素な生活を強いられた。
- ・税金等の支払督促が来ても、「お金が無い」と言い、払おうとしない。（納税に対する意識が薄い）
- ・完全に夫婦のお金は別々に管理しているため、お互いの収支や貯蓄額が把握できず、不信感が生まれてしまう。
- ・旦那にお金の使い道に関して細かくチェックされてしまうので息苦しい。
- ・夫婦の共通口座にあるお金を知らない間に旦那が使い切ってしまう。

文化によって互いのお金に対する認識が違い、夫婦喧嘩や、最悪の場合は離婚の原因にさえなってしまうお金の管理。

これを乗り越え、国際結婚を上手くするにはどうすれば良いのでしょうか？

今回は、国際結婚におけるお金の管理について、アバントグループの深山 秀一がグローバル資金管理の視点から解説します。

<本レターに関するお問い合わせ先>

株式会社アバントPR事務局（株式会社ベクトル内） 徳丸／小林／中野

TEL：03-6825-3020／MAIL：avant_pr@vectorinc.co.jp

海外では自分のお金は自分で管理することが当たり前！？

海外、特に欧米ではお互いに仕事をしているケースが多く、自分の稼いだ分は全て自分で管理するのが当たり前となっているようです。日本のように女性が仕事をしていないにもかかわらず全家計を握っている、なんてことはまずありません。

ではどうやってお金を管理しているかという、自分の稼ぎは自分自身の口座で管理し、家賃や食費は共通の夫婦の銀行口座で管理するというのが一般的なようです。相手がお金をどう使っているかわからないので、夫婦間でも金銭に関してはお互いをあまり信用していないというケースも見られ、アメリカでは離婚理由の3位が金銭問題にもなっています。（ウィリアム・ドハーティ「離婚に至る重要な要因のすべて」2010）

深山 秀一
（フカヤマシュウイチ）

株式会社ディーバ
（アバントグループ）
CFOオフィス事業本部
TMS事業部
シニアマネージャー



大手監査法人系コンサルティング会社を経て、ディーバ社へ入社。国内大手上場会社へのシステム導入およびプロジェクトマネージャを歴任し、連結会計のコンサルティングを10年に渡り経験。保守サポート部門長在任中にクラウドサービスの開発とリリースを行い、現在に至るまでサービス責任者を務める。アウトソーシング事業部にて連結決算実務を5年に渡り経験したのち、TMS事業部にてトレジャリーコンサルタントとして活躍中。

為替変動で大きな損失が出る場合も

給与と収入、預金、動産、不動産、住宅ローン、各種保険が家計全体で見るとすべて同一通貨であった際には影響がなかったのですが、国際結婚により複数通貨に跨るようになると、為替変動の影響にさらされます。為替変動の影響にさらされると、その変動にあわせ純資産価値が変動するため、将来的な純資産価値の予測および家計の全体感を把握することが困難になります。特に近年は、円相場は円高水準から一転して大幅な円安に転じるなど大きく変動しており、一瞬にして大きな損失となる恐れもあります。

テクニカルな回避策はいろいろとありますが、まずは資産・負債を通貨別にきちんと把握することが大切です。現状が把握できていれば、大きな為替変動の際にもすばやく通貨を跨いだ資産移動などの対応が可能です。



お金の「見える化」が必要

実際に国際結婚をした方の悩みを見てみると、ご夫婦のお金の管理において、家計の透明性がなかったり全体感を把握できなかったりすることが問題となっているようです。

家計全体の資産・負債が把握できないと、マイホーム購入費や子どもの教育費、そして自分たちがリタイアした後の老後資金など、将来への生活設計やライフプランを立てることができなくなります。



<本レターに関するお問い合わせ先>

株式会社アバントPR事務局（株式会社ベクトル内） 徳丸／小林／中野
TEL：03-6825-3020／MAIL：avant_pr@vectorinc.co.jp

企業も、国境をまたいだ資産把握を重要視

グローバル展開する日本企業に関しても、以前は製造拠点多く販売拠点多くなかったため、現地ではお金を使うばかりで海外に貯まっていくお金が少なかったことや、本社財務が子会社の自主性尊重という名のものに、各社のお金は各社に管理を任せてしまい、3か月に一度または月に一度資金残高を報告させる程度で月中の動きなど見えない状況でした。

しかしながら最近では、クラウドコンピューティングやFintechの発展により、リーズナブルにグループ全体の資金をリアルタイムに通貨別に把握の上、全体視点の効率的な資金運用ができるようになりました。

そのため、グローバル資金管理システムを導入し、正確に資産を把握する、すなわち「見える化」に取り込む企業が増えているのです。



また、グローバル資金管理の現場は、各国の多数の担当者と共同作業をして業務をまとめていくが必要になります。そこで成功のカギを握るのは、相手の状況をどこまで理解でき、それに合わせた対応を提示できるのかという点です。ここで重要なのは、水が半分入っているコップを見て「もう半分しかない」「まだ半分ある」というように、同じ事実があったとしても、自分と相手のとらえ方は違うことがあるという点です。

大切なのはお互いの「お金と心の見える化」

家庭でも同様に金銭のことに関しては「見える化」が必要です。

夫婦のお金の管理を一人が行おうと、個別に行おうと、たとえ信頼し合い、一緒になったパートナーであっても、見えないものには何かと疑心暗鬼になってしまうのが人の常です。

対策としては、スマートフォンアプリで、銀行口座、証券口座、カード明細、電子マネー、各種ポイント残高を一元管理できるものもあるので、それを利用することも良い手でしょう。

文化や価値観が違うとわかっていながらそれでも結婚にこぎつけたカップルの多くが、冒頭にあるように離婚するという事実が示しているものは果たして何なのでしょう？国際結婚が増えた現代だからこそ、最後に必要な能力として残るのは「相手の心の見える化」かもしれません。

もともと違いがあるからこそ惹かれた二人が、センシティブかつシビアなお金の管理について「見える化」をして同じ事実を見つめながら、それぞれの違いを認めつつ相手の考え方とらえ方を理解することで、よりよい関係が実現されるのです。

＜本レターに関するお問い合わせ先＞

株式会社アバントPR事務局（株式会社ベクトル内） 徳丸／小林／中野
TEL : 03-6825-3020 / MAIL : avant_pr@vectorinc.co.jp

【グローバル資金管理システム「tm5」】

企業マネジメントの生産性を革新するアバントグループの株式会社ディーバでは、世界150か国、15,000グループ企業に利用されているトップクラスのグローバル資金管理システム「tm5」を提供しています。

「tm5」を導入することで、海外子会社の資産情報の全体像を把握でき、不正やグループ全体視点からは非効率な資金運用の抑制を図ることができます。詳細については以下をご参照ください。

<https://divatms.jp/>

【株式会社ディーバに関して】

ディーバは1997年に、連結会計ソフトウェア分野における国内のリーディングカンパニーとして設立しました。本社とグループ会社を連動させた連結視点での経営管理基盤をパッケージとして提供し、幅広いパートナー企業とともにコンサルティングサービス・販売、導入、サポートサービス、アウトソーシングサービスを提供しています。

経営効率を高める連結会計ソフトウェアには、より信頼性のある製品、および高品質なサービスが求められており、格段に高度化・複雑化したお客様の要件を実現できる経営情報基盤として、国内900社を超える企業に選択されています。

今後も、経営情報の透明性を高め、経営品質の向上をサポートし続けます。

なお、2013年10月に株式会社ディーバから株式会社アバントに商号変更し、持株会社制へ移行。新たに株式会社ディーバを設立し、ソフトウェア事業を承継しました。2007年2月、ヘラクレス（現JASDAQ）に上場した株式会社アバントの100%子会社です。

社名： 株式会社ディーバ
 設立： 2013年10月1日
 代表者： 代表取締役社長 森川 徹治
 URL： <https://www.diva.co.jp/>
 主要業務： ビジネスソリューションパッケージの開発・ライセンス販売・
 コンサルティングサービス・サポートサービス など
 本社所在地： 東京都港区港南2丁目15番2号 品川インターシティB棟13階



【アバントグループに関して】

アバントグループは「経営が変わる情報をつくる」をテーマに、マネジメントの生産性を革新する企業グループです。アバントをホールディングカンパニーとして、連結会計のディーバ、ビジネスインテリジェンスのジールを中心に、グループ4社で専門性の高いソリューションを提供しています。

＜アバントグループ＞

- 株式会社アバント
- 株式会社ディーバ
- 株式会社ジール
- 株式会社インターネットディスクロージャー
- DIVA CORPORATION OF AMERICA

